



# 平成30年7月期 決算補足説明資料

証券コード：3172

平成30年9月3日(月)

**ティーライフ株式会社**

<http://www.tealifeir.com/>

# 当社について



名称：ティーライフ株式会社（証券コード：3172）  
本社所在地：静岡県島田市  
資本金：356百万円  
設立：昭和58年8月  
事業内容：小売事業（健康茶、健康食品、化粧品等の通信販売）  
卸売事業（健康茶、寝具、雑貨等の卸売）  
不動産賃貸事業（物流センターを活用した不動産賃貸事業）  
上場証券取引所：東京証券取引所市場第一部

## グループ会社



H24.11月グループ化  
(株)アペックス  
【所在地】群馬県高崎市

寝具を通じて  
健康づくりのお手伝い



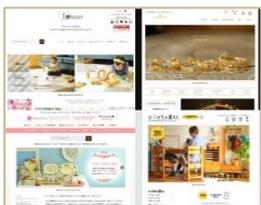
H26.8月グループ化  
(株)ダイカイ  
【所在地】愛知県名古屋市港区

かわいいフィギュアを中心に  
癒しの空間を演出



H29.3月設立  
提來福股份有限公司  
【所在地】台湾台北市

健康茶を通じて  
健康づくりのお手伝い



H30.8月グループ化  
(株)Lifeit（ライフイット）  
【所在地】東京都目黒区

お客様のライフステージに  
合わせた商品をご提案



# 平成30年7月期 連結決算概要



(単位：百万円)

	H29/7月期 実績	構成比	H30/7月期 実績	構成比	前年同期比	
					増減	増減率
売上高	<b>7,320</b>	100.0%	<b>7,289</b>	100.0%	△31	△0.4%
売上原価	<b>2,529</b>	34.6%	<b>2,637</b>	36.2%	107	4.3%
売上総利益	<b>4,791</b>	65.4%	<b>4,652</b>	63.8%	△139	△2.9%
販売費及び一般管理費	<b>4,309</b>	58.9%	<b>4,194</b>	57.5%	△115	△2.7%
営業利益	<b>481</b>	6.6%	<b>458</b>	6.3%	△23	△4.9%
経常利益	<b>546</b>	7.5%	<b>470</b>	6.5%	△76	△14.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>458</b>	6.3%	<b>423</b>	5.8%	△35	△7.7%

## 【売上高】

- ・ほぼ前期並みの売上となりました。
- ・楽天市場、アマゾン、ヤフーショッピングなど大手オンラインモールにおいて、販売が好調に推移しました。
- ・新たに弊社物流センターに隣接する土地、建物を購入し、賃貸エリアの拡大により、賃貸収入が拡大しました。

## 【利益】

次世代商品の育成のためサプリメント「チョウ活宣言®活性フローラ」やお茶の成分を使用した基礎化粧品「teatea（ティアティア）」のプロモーションや、台湾を中心としたアジア圏への市場拡大など、将来の成長に向けた先行投資を行ったことにより営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比減となりました。

# 平成30年7月期 小売事業の概況

(単位：百万円)

	H29/7月期 実績	H30/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,390	5,171	△219	△4.1%
セグメント利益	414	356	△57	△14.0%

## 【売上高】

- ・平成28年9月より本格販売を開始した商品「チョウ活宣言® 活性フローラ」を含む、「サプリメント」分野商品の販売が順調に推移しました。
- ・大手オンラインモールにおいて、当社商品のシェア拡大を進め、楽天市場において、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2017」のダイエット・健康部門ジャンル賞も獲得し、売上も伸ばしました。
- ・海外市場において、台湾を中心としたアジア圏に自社商品を積極的にプロモーション展開し、売上を拡大しました。
- ・定期購入の回数縛りを廃止したことにより、通常購入の比率が多くなり、投資回収効率も低下しました。その結果、新規顧客開拓数も前年を下回り、売上高は前年比減となりました。

## 【セグメント利益】

次世代商品の育成のためサプリメント「チョウ活宣言®活性フローラ」やお茶の成分を使用した基礎化粧品「teatea（ティアティア）」のプロモーションや、台湾を中心としたアジア圏への市場拡大など、将来の成長に向けた先行投資を行ったことにより、セグメント利益は前年比減となりました。

(単位：百万円)

	H29/7月期 実績	H30/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	1,864	2,012	147	7.9%
セグメント利益	9	28	19	200.7%



## 【売上高】

- ・ 北欧ブランド「Danfill (ダンフィル)」の新デザインの寝具、ドイツブランド「Leschi (レッシー)」のウォーミングピロー等の新商品の発売により、国内での北欧ブランドの育成に取り組みました。また、独自のあたたか素材を使用した衣類「Le bois (ルボア)」の品ぞろえ拡充や、顧客ニーズに対応した商品開発、商品パッケージ等の刷新等により、他社との差別化、ブランドも強化を図った結果、売上高は伸長いたしました。

## 【セグメント利益】

売上高の伸長に加え、コラムジャパン株式会社を吸収合併したことに伴う物流業務の内製化等による費用圧縮により、セグメント利益は28百万円となりました。

# 平成30年7月期 不動産賃貸事業の概況

(単位：百万円)

	H29/7月期 実績	H30/7月期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	65	105	39	61.2%
セグメント利益	54	85	30	56.6%



## 【売上高・セグメント利益】

- 新たに当社物流センターに隣接する土地及び建物を取得し、賃貸エリアの拡大により賃料収入が増加しました。

## 海外事業の概況

- 平成29年3月に台湾に現地法人を設立し、その後台湾でのネット通販による販売活動を本格展開し、売上高も伸長しています。また、越境ECなどの手法も活用し、他のアジア圏へも市場を拡大しております。



台湾でのWEB広告ページ



台湾Facebook

単年度	H30/7月期 実績	構成比	H31/7月期 計画	構成比	増減	増減率	主な要因
売上高	7,289	100.0%	8,571	100.0%	1,281	17.6%	賃貸、海外売上を拡大。M&Aした(株)Lifeit社が連結対象に
営業利益	458	6.3%	369	4.3%	△89	△19.4%	顧客基盤を固めるため積極的な広告費の投下
経常利益	470	6.5%	352	4.1%	△118	△25.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	423	5.8%	257	3.0%	△165	△39.1%	

配当金	中間	17円	10円(予定)
	期末	17円	10円(予定)
	合計	34円	20円(予定)

\* 予想配当性向 33.0%

(単位：百万円)

3ヶ年期計画	H31/7月期 計画	H32/7月期 計画	増減率	H33/7月期 計画	増減率
売上高	8,571	8,897	3.8%	9,516	6.9%
営業利益	369	422	14.4%	489	15.9%
経常利益	352	413	17.6%	481	16.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	257	292	13.5%	331	13.4%

## 1. 新たな主力商品の開発・育成

腸内環境に着目した「麹・茶・乳酸菌」を組み合わせたサプリメント「チョウ活宣言® 活性フローラ」やお茶の成分を使用した基礎化粧品「teatea（ティアティア）」のプロモーションを積極的に展開し、新規顧客の獲得に注力します。50代・60代の生活感覚に沿った商品や拡大するアクティブシニア向けの商品の開発を中心に、特定の市場でシェアNO.1となれる差別化された商品（医薬品・機能性食品）の開発・育成を推進します。

## 2. カタログとネットの融合

利用するお客様の属性に合わせてカタログ・WEBサイトのデザインやコンテンツを見直し、お客様の利便性やブランド力の向上を図ります。

楽天、アマゾン、ヤフーショッピングなどへ出店中の店舗の継続的な成長を果たします。

さらに、現地法人を設立した台湾を中心に、アジア圏においてECでの海外展開を推進します。

## 3. お客様との絆づくり

一人ひとりのお客様のお悩みやご要望に合わせたご提案や対応ができる専門知識や接客力を持ったコミュニケーターの育成に取り組みます。

健康や美容をテーマとしたお客様向けセミナーや弊社社員とお客様の座談会など他の通販会社ではやらないようなイベントを企画・運営し、ブランドの浸透を図るとともに、お客様との絆づくり活動を推進します。

## 4. 販売シナジーの最大化

卸売事業において、新商品や新ブランドの企画を推進します。さらに、グループ各社の強みであるオンリーワン商品を軸に、既存の販路の枠にとらわれず、各社の販売チャネルを活用（シナジー）した新規取引先の拡大に努めます。

## 5. グループ全体の経営基盤の整備

物流センターの有効活用による物流業務の効率化などコストコントロールを徹底し、高収益体制の基盤作りに努めます。また、「ウェルネス&ライフサポート事業」にシナジーの見込めるM & Aを積極的に活用し、成長を加速させるための投資を推進します。

**【本資料に関する注意事項】**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

**【お問合せ先】**

ティーライフ株式会社  
コーポレート本部 コーポレート部  
T E L (0547) 46-3459  
U R L <http://www.tealifeir.com/>